

アフガニスタンに命の水を～中村哲さんの遺志をつなぐ



中村哲医師がハンセン病医療活動のためパキスタンに向かってから 30 年、大干ばつと戦火のアフガニスタンで、ペシャワール会は現地の人びとと力を合わせ、干上がった砂漠に水路を引き、緑の大地を創り出してきました。看護師の藤田さんは中村哲さんとともに、現地になくてはならない存在として活動を続けてこられました。

中村哲さんが不慮の死を遂げてから、アフガニスタンから米軍が撤退し、タリバン政権が成立しました。中村哲さんの死に打ちひしがれた藤田さんですが、「中村先生の仕事を引き継ぎたい」というアフガン人スタッフに背中を押されるように水路建設事業のただなかに戻りました。現地を熟知する藤田さんがいなければ、事業を続けられなかったといいます。

中村哲さんの死後、世界をコロナ禍が襲い、誰もが不安のただなかに生き、今はロシアのウクライナ侵攻の渦中にあります。今こそ中村哲さんの言葉を聞きたいと、2 年余の時間の中で何度願ったことでしょう。藤田さんに長年の歩みと現地からの報告をお話いただき、中村哲さんの声にもまた耳を澄ます時間をともに持ちましょう。



アフガニスタンからの報告

藤田千代子^{さん}

(ペシャワール会 PMS 支援室室長)

藤田千代子さん プロフィール

1958 年 12 月、鹿児島県肝付町生まれ。

90 年からパキスタンで医療活動などに従事。治安悪化で 2009 年に帰国し、日本から後方支援にあたる。昨年、看護分野の国際的貢献者に贈られるフローレンス・ナイチンゲール記章を受章した。

日時：2022 年 5 月 8 日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)

場所：ひとまち交流館大会議室(京都市下京区河原町五条下る(hitomachi-kyoto.jp))

参加費：無料 会場カンパをお願いします。

主催：ピースウォーク京都 連絡先 (080-6159-6073 荒野)